

関東の居酒屋とエリアFC契約

豊田産業

東海で20店舗体制構築へ

外食店などを展開する豊田産業(本社刈谷市、豊田貴久社長)は、関東地方で人気の居酒屋チェーン「やきとり家すみれ」の運営会社すみれ(本社東京)と東海3県(愛知、岐阜、三重)のエリアフランチャイズ契約を締結した。東海で直営店の出店とフランチャイズチェーン(FC)募集を並行し、2020年までに20店舗体制を構築する。

(岩崎幸一)

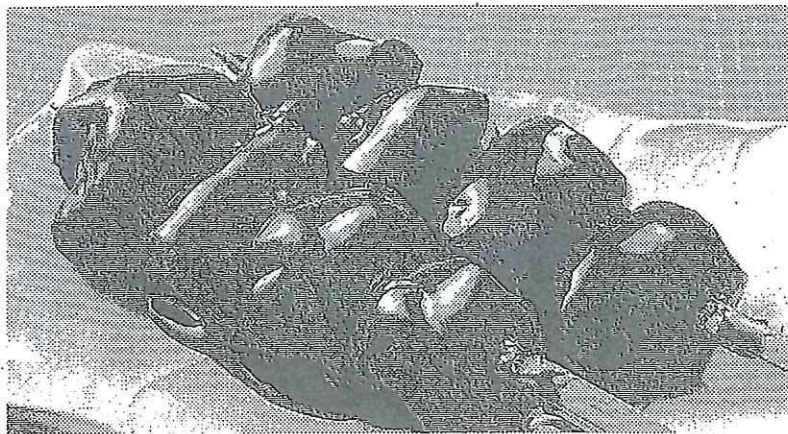
やきとり家すみれは09年6月に東京都目黒区で1号

店をオープン。関東を中心に全国展開を進めており、現在は関東、関西、中国、四国地方など1都1府9県に60店出店している。

焼き鳥業態は今回が初めて。すみれは雑誌風のメニューの採用やモダンな内装などで、焼き鳥店になじみがなかった若い女性らの需要も掘り起こしている。担

当者は「独創的な業態でさまざまな利用動機が取り込めると判断した」と説明している。

自社1号店となる物件を年内に名古屋市内の駅前立地で決定し、来年早々にオープンさせる計画。同時にFC募集を進め、20年までに東海で直営3店、FC17店程度の体制に仕上げる。FCの標準パッケージとして店舗面積約100平方メートル、75席、平均月商700万円を想定している。



「大山どり」を使用した看板メニュー「名物王様レバー」

鳥取県の名峰・大山の水で育ったブランド鶏「大山どり」を使用した焼き鳥「名物王様レバー」(1本税別290円)が看板メニュー。一品料理の「大山どりのカルパッチョ」(690円)、「鶏もつものふわとろオムレツ」(500円)なども人気。客単価は2800円程度。

豊田産業は外食業態を20ブランド展開しているが、